

CPU自動切替器 取扱説明書

SW-KVM2AUU



最初に
ご確認ください。

セット
内容

- 切替器本体 …………… 1台
- 取扱説明書・保証書(本書) …………… 1部

※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、
お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

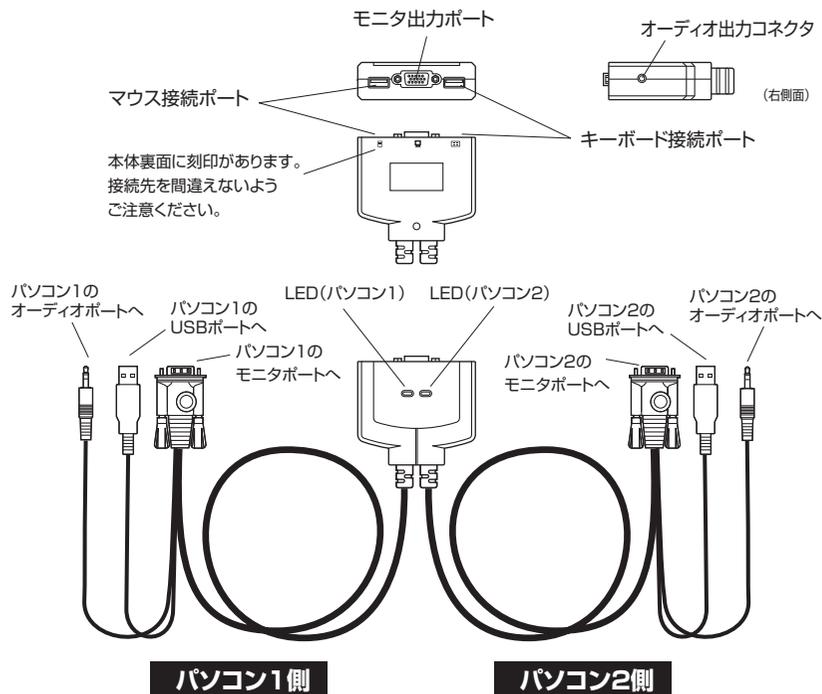
サンワサプライ株式会社

目次

2	●はじめに
	●動作環境
	●安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)
	・警告
	・注意
	・お手入れについて
3	●特長
	●仕様
4	●各部の説明
5	●接続図
6	●切替方法
7	●使用OSの設定
8	●使用上の注意
	●トラブルシューティング
10	●保証規定

各部の説明

コンソール側ポート



コンソール側ポート

- モニタ出力コネクタ …… モニタや液晶ディスプレイを接続するポートです。
- USB出力コネクタ …… ご使用になれるUSBキーボード・USBマウスを接続するポートです。
- オーディオ出力コネクタ …… ご使用になれるスピーカーもしくはマイクを接続するポートです。

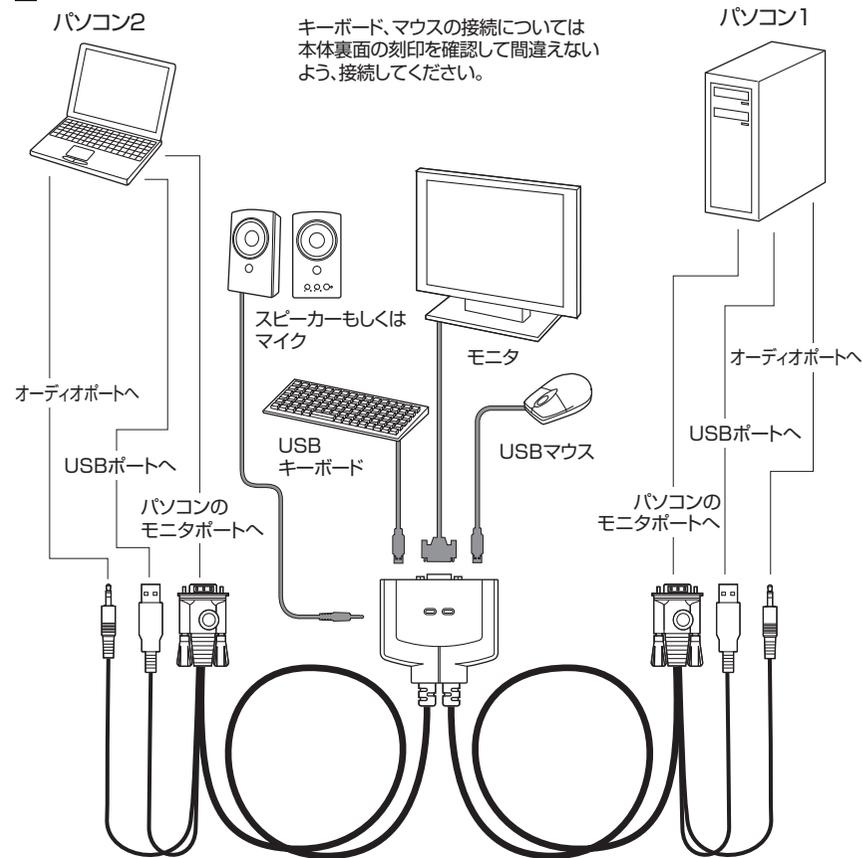
LEDランプ

パソコンの電源を投入するとLEDが点灯(緑)します。
点灯しているポートが現在切り替わっているポートです。
切り替わっているポートのみが点灯します。
オートスキャン実行時は切り替えられているポートのLEDが点滅(緑)します。
接続された2台のパソコンの電源がOFFの時はLEDは点灯しません。

パソコン1側ケーブル/パソコン2側ケーブル

接続するパソコンのモニター・USBキーボード・USBマウス・オーディオコネクタへ接続するケーブルです。

接続図



- 接続する前に、接続するすべての機器の電源をOFFにしてください。

- ① パソコン1側ケーブルを、ご使用になるパソコンのモニターポート・USBポート・オーディオポートに、それぞれ接続してください。
- ② パソコン2側ケーブルを、ご使用になるパソコンのモニターポート・USBポート・オーディオポートに、それぞれ接続してください。
- ③ ご使用になるコンソール(モニター・キーボード・マウス・オーディオ機器)を、切替器のコンソール側ポートに接続してください。*キーボード/マウスポートを間違わないようご注意ください。

以上で接続については完了です。
ご利用になりたいパソコン本体を起動してください。
起動したパソコン側に自動的に切り替わります。(起動している側のLEDが点灯(緑)します)
同時にパソコンを起動した際は先に起動したパソコン側へ切り替わります。
(同時起動にも対応しています)

切替方法

1) キーボードによる切替方法(ホットキー切替)

- ① パソコン1側を起動します。
USBキーボード、USBマウスを認識し、正常に動作することを確認してください。
- ② 「Ctrl」キーを2回連続して押ししてください。(同じ側のキーに限る)
パソコン2側へ切り替わります。
※注意:うまく切り替わらない場合は「Ctrl」キーを2回連続で押すスピードを変えてお試しください。
(例:トントン→トントン 素早く押すなど)
- ③ パソコン2側を起動します。
USBキーボード、USBマウスを認識し、正常に動作することを確認して下さい。
- ④ もう一度2回連続して「Ctrl」キーを押すとパソコン1側に切り替わります。
2回目以降の起動についてはどちらのポートから起動しても正常にキーボード・マウスを認識します。

2) オートスキャン切替

オートスキャン機能とは起動している2台のパソコンを自動的に交互に切り替える機能です。サーバー管理やネットワーク管理などに最適で切替操作なしで2台のパソコンの状態をチェックできます。

実行方法

- ～以下の動作は一連して行ってください。
左「Shift」キーを押します。→右「Shift」キーを押します。
※逆でも可能です。
※オートスキャンモードに入らない場合は、キーを押すスピードを変えてお試しください。
(例:トントン→トントン 素早く押すなど)

上記のキーボード操作でオートスキャン機能が実行されます。(5秒間隔・間隔変更はできません)
オートスキャン実行時はキーボード・マウスの操作はできません。キーボード・マウスの操作がしたい場合はオートスキャンを解除してください。

解除方法

キーボードの「スペース」キーを押す。

注意事項

- ※1:本製品の基本的な切替方法は「Ctrl」キーの2回連続押しになります。ゲームやアプリケーションソフトなどで「Ctrl」キーを使用する場合は切替器が作動してしまうという弊害がでますので本製品のご使用はお控えください。
- ※2:切替器接続後、初回起動時のみUSBキーボード、USBマウスを認識させるまで切替操作は行わないようにしてください。認識不良の原因になります。

使用OSの設定

本製品の初期設定はパソコン1、パソコン2側ともWindows・Linux OS設定になっています。接続環境がパソコン1、パソコン2側ともWindows・Linux OSの場合は設定変更は必要ありません。パソコン1側もしくはパソコン2側でMac OSを使用される場合は切替器のOS設定を変更することでDOS/VキーボードでMac OSを操作することが可能になります。(この設定をしなくてもある程度のキーは使用できますが、一部のMacキーが使用できません。本設定をすることで対応することが可能になります。)
以下の手順で設定を変更してください。

例)パソコン1側がWindows OS、パソコン2側がMac OSの場合

- ① パソコン2側(Mac OS側)を起動します。(完全に起動させてください)
- ② 「Ctrl」キーを押しながら「F12」キーを0.5秒以内に押す。
※キーボード上のNumLock、CapsLock、ScrollLock LEDが交互点滅します。この時、ホットキーモードに入っていることを示します。
※ホットキーモードに入らない場合はキーを押すスピードを変えてお試しください。
(例:トントン→トントン 素早く押すなど)
- ③ ②の動作に続けて「F2」キーを押す。

以上の操作でパソコン2側はMac OS設定になります。この操作は一度設定したら次回起動時からは必要ありません。使用機器環境が変わった場合は再度切替器の設定を変更してください。

パソコン1、パソコン2側ともMac OSの場合は両ポートで①～③の操作を行い、Mac OS設定に変更してください。

Mac OS用設定になっている場合のキーボードマッピング

下図のキーボードマッピング表を確認し、DOS/V用キーボードでキーの割り当てがMac用になっていることを確認してください。

▼キーボードマッピング表

Mac キーボード	Windows USB キーボード
左「Shift」or右「Shift」	左「Shift」or右「Shift」
左「Ctrl」or右「Ctrl」	左「Ctrl」or右「Ctrl」
左「Alt」(Option) or右「Alt」(Option)	左「Alt」or右「Alt」
 (Mac Command)	 (Windows Command)
「F13」	「Print Screen」
「F14」	「Scroll Lock」
「F15」	「Pause/Break」
「=」	「Shift」、「=」
 (Power Eject)	左「Ctrl」、「4」or右「Ctrl」、「4」
 (Mute)	左「Ctrl」、「1」or右「Ctrl」、「1」
 (Volume Down)	左「Ctrl」、「2」or右「Ctrl」、「2」
 (Volume Up)	左「Ctrl」、「3」or右「Ctrl」、「3」
「Return」	「Enter」
「Delete」	「Back Space」
「Help」	「Insert」

切替機のOS設定をWindows・Linuxにしたい場合は

- ① 「Ctrl」キーを押しながら「F12」キーを0.5秒以内に押す。
 - ② ①の動作に続けて「F1」キーを押す。
※キーボード上のNumLock、CapsLock、ScrollLock LEDが交互点滅します。この時、ホットキーモードに入っていることを示します。
※ホットキーモードに入らない場合はキーを押すスピードを変えてお試しください。
(例:トントン→トントン 素早く押すなど)
- 以上の操作でWindows・Linux設定になります。

▼ホットキーコマンド一覧

機能名称	ホットキー起動キー	Combinationキー	機能
OSの選定	「Ctrl」+「F12」	「F1」	OSをWindowsと設定
	「Ctrl」+「F12」	「F2」	OSをMacと設定
ポートの切替	「Ctrl」、 「Ctrl」		次のポートへ切替
オートスキャン	右「Shift」+左「Shift」		オートスキャン起動(5秒間隔)
	「Space」 or「Esc」		オートスキャン解除

注意事項

※1:「Ctrl」+「F12」の操作

「Ctrl」を押しながら、「F12」を0.5秒以内に押す。

その後、キーボード上のNumLock、CapsLock、ScrollLock LEDが交互点滅します。

この時、ホットキーモードに入っていることを示す。この状態で、次のCombinationキーを押す。

ホットキーモードの途中でホットキー操作を止めたい場合は、「Esc」キーを押し、ホットキーモードを解除する。

※2:オートスキャン機能が働いている場合、「Space」キー以外、キーボードの操作ができません。

使用上の注意

- ①本製品を使用してパソコンを切り替えて使用する際は、万が一に備えてデータのバックアップをこまめにすることを勧めます。(切替時の不具合によるハングアップ、ケーブル抜け等)
- ②キーボードパワーオン機能には対応しておりません。

トラブルシューティング

Q1) 接続されたノートパソコンを起動しても、コンソール側のモニタに映像が出力されない(ノートパソコンの液晶画面には表示されている)。

A1)

ノートパソコン側で、映像が外部に出力されない設定になっている可能性があります。通常、ノートパソコンでは「Fn(ファンクション)」キーを押しながら「F3」キーを押すことで、映像を外部に出力できるようになります。詳しい方法については、ご使用になるノートパソコンの取扱説明書をご覧ください。

Q2) マウス(キーボード)が動かない。

A2)

- 接続用ケーブルの、マウスケーブルとキーボードケーブルの接続が逆になっていませんか?
- 本体裏面の刻印をご確認頂き、キーボード・マウスの接続が間違っていないかご確認ください。
- マウスボタン機能割付などの特殊なドライバ等をインストールしている場合、そのドライバをアンインストール後、OS標準のPS/2マウスドライバにてお試しください。特殊な機能を有するマウスに対応していない場合があります。

トラブルシューティング(続き)

Q3) 画面がちらつく(にじむ)

A3)

切替器～モニタ間のVGAケーブルは何mでしょうか? VGA信号は非常に劣化しやすいためできるだけ品質が良く、短いケーブルをご使用ください。

Q4) ホットキー切替ができない。

A4)

本製品のホットキーコマンドは、「Ctrl」キーの連続2回押しです。押しスピード(間隔)を速くしてお試しください。1回ずつゆっくり押すと認識されず、反応しない場合がございます。

(例「トントン」→「トトン」と素早く押す)

Q5) パソコンの電源を全てOFFにしても、切替器のLED(ON LINE)が消えない。

A5)

本製品はパソコンのキーボードポートから電源を供給され動作しています。ご使用中のパソコンがキーボードパワーON(キーボードからパソコンの電源をONにできる)の設定になっている場合、パソコンの電源がOFFの時にも常にキーボードへ電気が供給されており、このため本製品のLEDが点灯したままになります。この状態でも本製品の使用には問題ありませんが、BIOSの設定でパソコンのキーボードパワーON機能を解除することで回避できます(解除方法についてはご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください)。

Q6) ホットキーコマンド(「Ctrl」キー×2回)を他のキーで動作するよう変更できますか?

A6)

ホットコマンドキーは変更できません。本製品を接続した状態で「Ctrl」キーを連続押しする必要があるソフトウェアやアプリケーションソフトをご使用になると、切替器が動作する恐れがあります。本切替器のご使用を控えていただくか、アプリケーションソフトのご使用をお控えください。

Q7) Linux/FreeBSDで使用できますか? また、Windowsとの混在は可能ですか?

A7)

Linuxでの使用は可能です(Red Hat 8.0での動作確認済み)。

FreeBSDについては場合により動作しない可能性がありますので動作保証外となります。

また、WindowsとLinuxなど、異なるOSでの混在使用については問題ありません。

Q8) 異なるOSを搭載したパソコンを共有できますか?

A8)

共有できます。サンワサプライ製CPU自動切替器は、異なるバージョンのWindows/Linuxが混在した状況でも正常に動作することを確認しています。

Q9) パソコンの電源を入れたまま切替はできますか?

A9)

問題なく切り替えます。本切替器はキーボード・マウス信号をエミュレートしているため、パソコンの電源を入れたままポートを切り替えても、本製品に接続されているすべてのパソコンは常にキーボード・マウスが接続されていると認識しています。

トラブルシューティング(続き)

Q10) マウスポート付きのキーボードにマウスを接続した状態で使用できますか?

A10)
できません。パソコンからのマウス信号が本切替器まで正常に到達しないため、動作しない・暴走するなどの症状が発生します。

Q11) 接続されたパソコンをすべて同時に起動させることはできますか?

A11)
可能です。サンワサプライ製CPU自動切替器は、接続されたすべてのパソコンに対して常にキーボード・マウスのエミュレート信号を送っているため、同時に起動させても問題ありません。
また、A10にも記したとおり、起動後に切り替えても全く問題ありません。

Q12) パソコン起動時(再起動時)などは、そのパソコンにスイッチを切り替える必要がありますか?

A12)
必要ありません。仮にポート1が選択された状態でポート2に接続されたパソコンを起動(再起動)させても、正常に起動完了し、切替後も正常に動作します。

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - 保証書をご提示いただけない場合。
 - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
 - ドライバのダウンロード
 - よくある質問(Q&A)
 - 各種対応表
- など、最新情報を随時更新しています。



ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

保証書

キリトリ線

サンワサプライ株式会社

品番	SW-KVM2AUU		
シリアルナンバー			
お客様	お名前		
	ご住所	TEL	
販売店	販売店名・住所・TEL		
	担当者名		
保証期間	12ヶ月	お買い上げ年月日	年 月 日

※必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

サンワサプライ株式会社

2011.9現在

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
 東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
 札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
 仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区権町1-6-7カシヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

11/09/KTDaNC